

教皇フランシスコ 逝去

新教皇レオ 14 世 *Habemus Papam!*

私たちは新しい教皇をいただきました



© VATICAN MEDIA

教皇選挙「コンクラベ」2 日目の 5 月 8 日 (木) 18 時 9 分 (日本時間 9 日午前 1 時 9 分)、システイナ礼拝堂の煙突から白い煙が上がり、サン・ピエトロ大聖堂の鐘が鳴らされた。およそ 1 時間後、ドミニク・マンベルティ枢機卿が同大聖堂のバルコニーから、サン・ピエトロ広場に集まった多くの人々に向けてラテン語の式文を述べた。

「皆さんに大きな喜びをお伝えします。私たちは新しい教皇をいただきました」第 267 代教皇に選出されたのは、ロバート・フランシス・プレヴォスト枢機卿、教皇名はレオ 14 世。1955 年 9 月 14 日生まれ、米国出身、聖アウグスチノ修道会会員。

中村倫明大司教は「9 日の早朝、ミサの前に教皇様が選ばれたことを知りました。毎朝一緒にミサをささげる神父様方、この日から新たな任地に赴かれる神父様とともに、感謝して祈りました」と話した。

また、レオ 14 世がかつて聖アウグスチノ修道会総長を務めていた頃、城山教会への訪問を迎えた同修道会のマイケル・ヒルデン師 (当時、城山教会主任) は、「2008 年 11 月に長崎、城山を訪問し、188 殉教者列福式の翌日、兄弟司祭や信者の皆さんと一緒に、外海の次兵衛岩 (同修道会の金鍔次兵衛神父は 188 福者の 1 人) を登りました。長い間ベルーで働き、とても謙遜で優しく、宣教のために尽くす方。知らせを聞いたとき、ふさわしい方が選ばれたと思います。これから大きな責任を担うことになるので、教皇のためにお祈りしなければと思います」と語った。



© VATICAN MEDIA

「貧しい人のための 教会を望んだ」

(2013 年 3 月 16 日、メディア関係者との会見でのフランシスコ教皇の言葉)

第 266 代教皇フランシスコが 4 月 21 日 (月) 7 時 35 分 (日本時間 14 時 35 分)、バチカン市国で逝去された。88 歳だった。逝去の知らせは同日 9 時 47 分 (日本時間 16 時 47 分)、ローマ教皇庁のカメルレンゴケビン・ジョゼフ・ファレル枢機卿によりバチカンのサンタ・マルタ館から発表され、世界中に衝撃が走った。「：教皇の全生涯は、主と、その教会への奉仕にささげられたものでした。教皇はわたしたちに福音の価値を、忠実と、勇気、普遍の愛をもつて、特に最も貧しい人々や疎外された人々への配慮のもとに、生きることを教えました」(バチカン・ニュース)

大きな悲しみに包まれる中、

葬儀ミサは 4 月 26 日 (土) 10 時 (日本時間 17 時) サン・ピエトロ広場で首席枢機卿のジョヴァンニ・バッティスタ・レ枢機卿

レオ 14 世の教皇職開始を記念するミサが、5 月 18 日 (日) バチカンのサン・ピエトロ広場でささげられる。新教皇誕生とともに、水曜日の一般謁見、日曜正午の祈りの集いも、再び開催されることになる (5 月 10 日付バチカン・ニュース)。

の司式により行われ、世界各地から集まった多くの人々がその死を悼んだ。葬儀の後、教皇の棺はサン・ピエトロ大聖堂に運ばれ、そこからサンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂に移送され、遺言に沿って埋葬された。

教皇の逝去後、カトリック中央協議会のウェブサイトでは日本カトリック司教協議会会長・菊地功枢機卿による談話が発表され、長崎教区においても中村倫明大司教のメッセージが伝えられた (左記)。4 月 27 日 (日) 15 時から、東京カテドラル聖マリア大聖堂 (関口教会) でローマ教皇庁大使館主催の追悼ミサが行われ、ライブ配信された。

教皇フランシスコは 12 年間に及ぶ在位中、47 回の海外訪問を行い、66 カ国に赴いた。2019 年 11 月には日本を訪れている。人々と交わり、対話し、教会の姿勢をはっきりと示し導いてくださった教皇フランシスコに、感謝と祈りをささげたい。

とても悲しいお知らせを行わなければなりません。わたしたちの親愛なる霊的父親であるフランシスコ教皇様がお亡くなりになりました。

ご存知のように、教皇様はたびたび入退院を繰り返しておられましたが、2 月 14 日に再入院なさっていました。その間、

教皇フランシスコの訃報に際して

長崎大司教
大司教 ペトロ 中村 倫明

ご病氣回復のためにお祈り続けてくださいましたことに感謝申し上げます。

教皇様は 2013 年に教皇に選出されて以来、ご高齢であるにもかかわらず精力的に教皇職の激務を果たしておられました。わたしたちにとって懐かし

9 年の 11 月、ここ長崎にもおいでくださったという事です。この長崎において、教皇様は、このわたしたち長崎の人々は二つのことの証人であることを示してくださいました。

まず一つは、爆心地公園でのことでした。教皇様は、まず最初に爆心地公園に向かわれ、被



教皇フランシスコの訃報を受け、長崎大司教区は 4 月 27 日 (日) 15 時、浦上教会で追悼ミサをささげた。中村倫明大司教の主司式、高見三男名誉大司教と 40 人余の司祭団の共同司式により、2 人の助祭、修道者、信徒ら、また、宗教に関係なく集まった総勢約 1000 人がともに祈った。

教皇フランシスコ追悼ミサ 約 1000 人がともに祈るー浦上教会

ミサ開始時、ほほ笑んだ顔の教皇フランシスコの写真を前に、田上富久前長崎市長と長崎県宗教者懇話会の方々、長崎 3 地区、女性部、修道女、神学生の各代表がそれぞれ献花をした。続いて、司祭団が入堂・献花、最後に中村大司教が献花・献香をした。



ミサの説教の中で中村大司教は、朗読されたルカ福音書の「迷える羊」のたとえ (15:1-7) を引き、生前の教皇が言葉や書き物を通して司祭・司牧者たちに向け、「あなたたちは羊の句いがする牧者にならなさい」と伝えていたことに触れた。「羊の句いがするためには、羊たちの中に実際に入っていく、そこでともに生きていかなければなりません。もつとと言うと、そこで迷った羊をも抱きしめていくんです。まさしく、亡くなられた

教皇様は、そんなよき牧者でした」

そして、人々に寄り添い続けた教皇フランシスコの姿を振り返り、「私たちが、人間として当たり前のこと、人を愛すること、お互いのいのちを大切にすることを行えるように」と必要な恵みを願い、教皇への深い感謝を言葉に込めて説教を結んだ。

ミサ後、参列者が長い列となつてそれぞれに持参した花を教皇にささげた (右の写真)。

そして、もう一つ、常に教皇様が諭されたことの証人とは、キリストの証し人のことです。教皇様は日本の殉教者をもっと尊敬しておられました。そして、このわたしたちがその殉教者としての遺伝子を受け継ぐ子孫であることを認めてくださり、「日々黙々と務める働きによる『殉教』を通して、すべてのいのち、とくにもっとも助けを必要としている人を保護し守る文化のために働くことが身についた、宣教する弟子として生きる」ように、そして、わたしたちが「宣教の喜びを呼び覚まし、それを保つことができるように」(11 月 24 日長崎・西坂公園) 祈ってくださいました。

わたしたちは今、この二つのことをわたしたちに与えられたフランシスコ教皇様の遺言として受け取ります。

2025 年 4 月 21 日

ありがとう 教皇フランシスコ

多くの人々と交わり、世界平和の実現を目指して対話に努め、メッセージを発信し続けた教皇フランシスコ。特に2019年11月23日から26日にかけて来日されたときの姿が思い出されます。その当時、日本カトリック司教協議会会長を務めていた高見三明名誉大司教と、同じくイエズス会日本管区長の任にあり通訳として教皇に全日程帯同したデ・ルカ・レンゾ師(現日本二十六聖人記念館館長)にお言葉を寄せていただきました。



(上)1枚目と3枚目はミサ会場となった長崎県営野球場で歓声にこたえ、赤ちゃんを祝福する教皇。2枚目は爆心地公園で献花し折る教皇。写真はすべて©カトリック中央協議会

フランシスコ教皇さまに感謝！

名誉大司教 高見 三明

フランシスコ教皇さまの計報に、正直驚くと同時に確かな礎(いしづえ)を失ったと感じました。カトリック教会最高の牧者として、内部の課題だけでなく、世界の平和や環境などの問題にも福音の光を当ててくださいました。

教皇選出の直後、聖ペトロ大聖堂のバルコニーで、慣例にとらわれず「こんばんはー」と言われ、最初の使徒的祝福を与える前に「わたしのために祈ってください」と言っており、しばらく手すりに両手



教皇フランシスコから来崎の記念のしるしとしてカリスを受け取る高見大司教(2019年11月24日県営野球場)

神の民と共に生きた教皇

イエズス会 デ・ルカ・レンゾ

フランシスコ教皇帰天に際して、悲しみよりも、彼がこの世での生活を全うし、使命は終わったという確信をもっています。何よりもフランシスコ教皇への感謝でいっぱいです。

教皇は来日した時は「すべての命を守るために」という表現を使いました。環境問題、原発、核兵器などが大きなテーマでした。考えてみれば、どれも世界的な問題であり、それを促すために日本まで来なくてもできると言えます。しかし、教皇は来日した時、多くの会場で被災者の声を聴いてから話をしました。限られた時間を割いてでも「日本の声」を世界に届けたと言えます。



メッセージを述べる教皇フランシスコと風であられた教皇のケープを整えるレンゾ神父(2019年11月24日西坂公園)

つまり、彼にとって、どこでも話せる内容ではなく、日本でしか話せない内容であったと言えます。日本だけが被爆国であり、日

を当てて頭を下げた後、祝福をなさいました。わたしは、今までにない特別な精神を見た思いがしました。それは十字架上のイエスの愛に生かされた人の姿でした。そしてその生き方を、言葉だけではなく具体的な行動を通して最期まで貫かれたのです。実に神と人々に自分を与え尽くす生涯でした。暴力と核の脅威に晒される世界、沈滞気味の日本の社会と教会にあるわたしたちを奮い立たせ、力強いメッセージを残してくださいました。教皇さまに感謝し、物やお金ではなく神にのみ信頼を置き、すべての人とともに救われたいとするその生き方に倣いたいものがあります。

本だけが津波と原発によって世界規模な環境問題を体験したからこそ、日本から発信したかったと私は思います。

もう少し狭い問題として日本でのイジメについて話したときも、外国人を含めてそのイジメの被害を受けた若者の声を皆で聴いてから話しました。皆で聴いて共同意識を高めてからその問題について話すことは、まさにその後に教皇が出した「シノダリティ」の体験でした。人の声を聴く姿勢、私にとつて一番印象に残ったことでした。

ありがとう、フランシスコ。安らかにお休みください。主はきっと両手を広げてあなたを迎えてくださるでしょう。そこから、私たちは導き続けてください。私たちはまだあなたから学ぶべきことがたくさんあります。

教皇フランシスコの遺言

遺言

2025年4月21日(月)、教皇庁広報部を通じて、21日に逝去した教皇フランシスコの遺言が発表されました。

憐れみ、そして選ばれた

(Misericordia atque Eligendo) (1)

三位一体のみ名において。アーメン。

わたしの地上でのいのちの終わりが近づいていることを感じながら、そして、永遠のいのちへの強い希望をもって、わたしの埋葬地に関してのみ遺言を示したいと思う。

わたしは、わたしの生涯と司祭・司教としての奉仕職を、主の母マリアに、聖母に、常にゆだねてきた。それゆえ、復活の日を待ち望むわたしの亡骸を、サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂で休ませてくださいることを願う。

わたしは、わたしの地上での最後の旅がこの古(いにしえ)からの聖母巡礼所で終わることを望む。わたしは、使徒的訪問の初めと終わりに、祈るためにそこに赴いた。わたしの意向を無原罪の聖母に信頼をもってゆだね、優しい母としての気遣いに感謝するためである。

わたしの墓は、同封の書面で指示するとおり、上述の教皇大聖堂のパオリーナ礼拝堂(ローマの民の救い)「Salus Populi Romani」の礼拝堂とスフォルツァ礼拝堂の間の側廊の壁龕(へきがん)に用意することを願います。

教皇フランシスコの逝去を伝えるものとなった。▼教皇フランシスコ逝去 言葉と行いでつくしみを説く

以下は4月22日付の各紙。▼2019年に長崎訪問/核廃絶へ「遺言受け取る」県内 追悼と感謝の声/絶大な影響力 政治動かす/対立克服へ「橋渡し」/「貧しい人々に希望」 各国首脳から悼む声(長崎新聞)

▼核廃絶 世界に発信/「貧者の教会」弱者の光/核なき世訴えに勇気 被爆者ら悼む声(毎日)

▼核兵器廃絶訴え/教皇多様性容認で苦闘/核廃絶、自らの声で訴え 被爆地から惜しむ声(日経)

▼平和や核廃絶訴え/バチカンの外へ架けた橋/宗教を超え最も苦しむ人の元へ/ルーツは移民 教会改革は道半ば/和解促す 温かい心(朝日)

▼長崎訪問 核廃絶訴え/在位12年 平和外交、政治仲介も/支

墓は地中にしなければならない。墓は、簡素なものとし、特別な装飾を施さず、「フランシスコ」(Franciscus)とのみ刻む。

わたしの墓の準備のための費用は、慈善家から集めた献金額でまかなってほしい。この献金は、サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂に移すように命じた。これについてわたしはリベリウス聖堂参事会特別委員のロランダ・マクリカス師に適切な指示を与えた。

わたしの健康を願い、わたしのために祈り続けてくださった人々に、主がふさわしい報いを与えてくださいますように。わたしの生涯の最後にあった苦しみを、世界の平和と諸国民の友愛のために、主にささげる。

ドムス・サンクタエ・マルタエにて、2022年6月29日

フランシスコ

注(1) 教皇フランシスコの標語。ペーダ・ヴェネラビリスによるマタイによる福音書9章9-13節についての説教からとられた。

聖年に行く ローマ・アッシジ・ルルド巡礼

期 間 2025年9月1日(月)～9月13日(土)
代 金 733,000円(35名以上)
※燃油サーチャージ・各国諸税は含みません
同行司祭 高見 三明 名誉大司教(カトリック長崎大司教区)

2025年の聖年のテーマ「希望の巡礼者」はわたしたちに出かけることを促しています。この旅が神様のご計画と世界の出来事にわたしたちの心に向ける励みとなり、神の民として歩み続ける勇気を願う機会となります。カトリック長崎大司教区 大司教 ペトロ中村倫明

企画 カトリック長崎大司教区 手配 有限会社アマタイトラベル

* 旅程などの詳細は各小教区へのご案内をご確認ください *

柱失いバチカン悲嘆/指導者に対話し続け/世界へ発信「今も力」被爆地や九州 悼む声/弱者に寄り添う自然体(西日本)
▼教会改革尽力/質素・親しみ 教会に新風/初の南米出身 貧困解決に力/核廃絶被爆地で訴え 長崎・広島「思いっなく」(読売)

教皇フランシスコのロジトが公開され、公開ページを教区フェイスブックにシェアしたところ多くのアクセスがありました。紙面を通して共有したく、カトリック中央協議会の許可を得て掲載いたします。

教皇フランシスコのロジト

(埋葬証明書)

2025年4月25日(金)に教皇庁が発表した、教皇フランシスコのロジト(埋葬証明書)。原文はラテン語で、テキストはイタリア語訳とともに発表された。ロジトは4月26日(土)に行われた教皇フランシスコの葬儀に際して、教皇の棺に納められた。以下はラテン語原文に基づく翻訳。

記念すべき教皇フランシスコの 逝去、退位、埋葬

2025年の聖年の4月21日午前7時35分、復活の光が復活の八日間の2日目を照らしたときに、希望の巡礼者であるわたしたちとともに、道の灯であり、わたしたちが招かれ



2025年4月26日、サン・ピエトロ広場で行われた教皇フランシスコの葬儀ミサ。世界各地から多くの人々が集まり、祈った。(写真：ロイター/アフロ)

ている天への同伴者である、教会の愛すべき牧者フランシスコは、この世から御父のもとへと移られました。全キリスト教共同体、とりわけ貧しい人々は、教皇が熱意と忠実をもつて福音とキリストの神秘的な花嫁へとささげてくださった奉仕職のたまものゆえに神に賛美をささげます。

フランシスコは第266代教皇でした。その記憶は普遍教会と全人類の心にとどまります。

2013年3月13日に教皇に選出されたホルヘ・マリオ・ベルゴリオは、1936年12月17日にブエノスアイレスでピエモンテ出身の移民の両親から生まれました。父マリオは鉄道会社の会計係であり、母レジーナ・シヴォリは家事と5人の子どもの教育に従事しました。ベルゴリオは、化学の学位を得た後、司祭への道を選び、初め教区神学校に入り、1958年3月11日にイエズス会修練院に移りました。チリで人文教育を修め、1963年にアルゼンチンに戻った後、サンミゲルのサン・ホセ神学校で哲学課程を優秀な成績で終えました。サンタフェ無原罪の御宿り神学校とブエノスアイレスのサルバトーレ神学校で文学と心理学を教えました。1969年12月13日、ラモン・ホセ・カステジャーノ大司教から司祭叙階を受け、1973年4月22日、イエズス会の終生誓願を立てました。サンミゲルのビラ・バリラリ修練院の修練長、神学部教授、イエズス会アルゼンチン管区顧問、神学校長を務めた後、1973年7月31日、イエズス会アルゼンチン管区管区長に任命されました。1986年から数年間をドイツで過ごし、学位論文を完成させた後、アルゼンチンに戻り、アントニオ・カラチノ枢機卿の協力者となりました。1992年5月20日、教皇ヨハネ・パウロ二世は彼をアウカ名義司教、ブエノスアイレス補佐司教に任命しました。ベルゴリオは司教の標語として「憐れみ、そして選ばれた」(Misericordia atque electio)を選び、イエズス会のシンボルのIHSを紋章に入れました。1997年6月3日、ブエノスアイレス協働大司教に挙げられ、カラチノ枢機卿の逝去により、1998年2月28日に枢機卿を継承して大司教、アルゼンチンの首座司教、アルゼンチンの東方典礼教会信者の裁判権者、カトリック大学学長となりました。2001年2月21日、教皇ヨハネ・パウロ二世は彼を枢機卿に叙任し、聖口ベルト・ベラルミノーの名義を与えました。次

いで同年10月、彼は世界代表司教会議第10回通常総会の副報告者を務めました。

彼は自らの大司教区において簡素に暮らす、人々から愛された牧者であり、遠方まで旅し、その際、地下鉄やバスも用いました。アパートに住み、夕食を自炊しました。自分は民の一人だと考えたためです。

教皇ベネディクト十六世の退位後、コンクラーベに集まった枢機卿の中から、2013年3月13日に教皇に選ばれ、フランシスコを名乗りました。アッシジの聖フランシスコの模範に倣って、世界のもっとも貧しい人々を何よりも愛することを望んだからです。祝福のバルコニーに現れた教皇は、次の言葉を述べました。「兄弟姉妹の皆様。今晚は。[...]」今、わたしは司教と民はこの旅路を歩み始めます。すなわち、愛において全教会を主宰するローマ教会の旅路を歩み始めます。それは兄弟愛と愛とわたしたち相互の信頼の旅路です」。そして、頭を垂れて、こう述べました。「皆様にお会いします。主がわたしを祝福してくださいよう、祈ってください。それは自分たちの司教のための祝福を願う、民の祈りです」。3月19日の聖なるおとめマリアの夫、聖ヨセフの祝日に、教皇はベトロの奉仕職を正式に開始しました。

常にもっとも最後に置かれた人々、社会から除け者にされた人々に注意を払ったフランシスコは、ドムス・サンクタエ・マルタエに住むことを選びました。なぜなら、教皇は、人々と接触せずには何もできなかつたからです。そして、最初の主の晩餐のミサから、バチカンの外でミサをささげることを望み、刑務所、身体障害者や中毒患者のための施設に赴きました。教皇は司祭たちにこう促しました。常に憐れみの秘跡を授ける用意をしないなさい。失われた羊を探すために、勇気をもって香部屋を出なさい。そして、父である神のみ顔と出会うことを望むすべての人を迎えるために教会の扉を常に開いておきなさいと。

教皇はイスラム教徒や他宗教の代表者との対話を進めるために、うむことなくベトロの奉仕職を果たしました。時にはこれらの人々を祈禱集会に招き、諸宗教の信仰者の一致のために共同宣言に調印

しました。たとえば、2019年2月4日にアブダビでスンニ派指導者のアフマド・アル・タイーブとともに調印した「世界平和のための人類の兄弟愛」に関する共同宣言書」です。最後に置かれた人、高齢者、子どもへの教皇の愛は、「貧しい人のための世界祈願日」、「祖父母と高齢者のための世界祈願日」、「世界子どもの日」の開始を促しました。教皇は「神のことばの主日」も制定しました。

教皇はいかなる前任者よりも枢機卿団を拡大しました。10回の枢機卿会議を招集し、その中で163名の枢機卿を叙任しました。そのうち133名は教皇選挙権をもつ枢機卿、30名は選挙権をもたない枢機卿です。また73か国から枢機卿を叙任しましたが、うち23か国はこれまで枢機卿のいなかった国です。教皇は世界代表司教会議総会を5回招集しました。うち3回は家庭、若者、シノダリティをテーマとする通常総会、1回は家庭をテーマとする臨時総会、1回はアマゾン地域のための特別総会です。

教皇の声はしばしば無害な人々を守るために発せられました。Covid19の感染拡大(パンデミック)が起こったとき、2020年3月27日の晩、教皇はサンピエトロ広場で一人で祈ることを望みました。広場の柱は象徴的に、未知の伝染病に襲われて恐怖する人類のために、ローマと全世界を擁護しました。教皇職の最後の数年間は、さまざまな国——とくにウクライナ、パレスチナ、聖地(イスラエル)、レバノン、そしてミャンマー——で部分的に起こっている第三次世界戦争に反対する、数々の平和への訴えて満たされました。

2021年7月4日から10日間、外科手術のためにアゴスチノ・ジェメッリ病院に入院した後、フランシスコは、2025年2月14日から両側性肺炎のために再び38日間、同じ病院に再入院しました。バチカンに戻ると、完全に回復していなかったにもかかわらず、最後の数週間をドムス・サンクタエ・マルタエで過ごし、同じ情熱をもって最後まで自らをベトロの奉仕職のためにささげました。2025年4月20日の復活の主日に、教皇は「ローマと全世界へ」(Urbi et Orbi)の荘厳な祝福を送るために、最後にサンピエトロ大聖堂のバルコニーに現れました。

教皇フランシスコの教導職はきわめて豊かなものでした。節度のある慎ましい様式をあかしし、宣教のわざと使徒的熱意と憐れみに支えられ、傲慢と教会の世俗的精神の危険を避けることに注意しながら、教皇は使徒的勧告「福音の喜び」(2013年11月24日)において自らの使徒的計画を提示しました。主要な文書として次のものが挙げられます。4つの回勅——神への信仰に関する『信仰の光』(2013年6月29日)『Lumen fidei』、エコロジーと気候危機に対する人類の責務に関する『ラウダート・シ——』とともに暮らす家を大切に(2015年5月24日)『Laudato si』、人間の兄弟愛と社会的友愛に関する『兄弟の皆さん』(2020年10月3日)『Fratelli tutti』、イエスのみ心への信心に関する『ディレクシット・ノス』(2024年10月24日)『Direxisti nos』。教皇は7つの使徒的勧告、39の使徒憲章、多数の使徒的書簡——その大部分は自発教令(motu proprio)であり、聖年を招集する2つの大勅書(bullae)を含みます——、さらに、一般謁見で行ったカテケーシス、世界のさまざまな地域で行った演説。教皇は、広報事務局、財務事務局、いのち・信徒・家庭省、総合的人間開発省を設置した後、使徒憲章『プレディカテ・エヴァンジェリウム』(2022年3月19日)『Praedicare Evangelium』によりローマ教皇庁を改革しました。教皇は『東方教会法典』と『新教会法典』における婚姻無効訴訟の教会法的手続きを改訂し(自発教令『ミティス・エト・ミゼリコルシス・イエズス』[Mitis et misericors Iesus]および『ミティス・ユデックス・ドミニス・イエズス』[Mitis Index Dominus Iesus])、未成年者と脆弱な人に対する聖職者の犯罪に関する法制度を強化しました(自発教令『ヴォス・エステイ・ス・ルックス・ムンディ』[Vos estis lux mundi])。

フランシスコはすべての人に人間性と聖なる生活と普遍的な父としての愛のすばらしいあかしを残しました。

教皇フランシスコの遺骸
享年88年4月4日
普遍教会を指導すること12年1か月8日
聖なる父よ、キリストのうちに永遠に生きんことを。

(埋葬の儀の証人の署名)

浦上教会に新しい鐘

米国のカトリック信徒らが寄贈

かつて旧浦上天主堂の2つの鐘楼には大鐘と小鐘の1対がつるされていた。1945年8月9日の原爆投下によって小鐘は大破し、大鐘はがれきの中から見つかった。現在も南側の鐘楼で祈りの時を告げている。大破した小鐘は現在その時の姿のまま浦上教会原爆遺物展



寄贈された新しい鐘は教会北側の鐘楼(円囲み)につるされる

示室に保存されているが、このことを知ったアメリカの人々がこのほど小鐘と同型の鐘を復元し、浦上教会に寄贈した。鐘を贈ったのは、米



長崎に到着した鐘を確認する関係者ら(5月1日、長崎市田中町の倉庫)

に長崎入りした。アメリカの人々から日本の人々へ新しい鐘が贈られたことを知ってもら

師(教区広報委員 長)、また、オンラインでノーラン氏が出席し、通訳は城山教会の今田昌樹師(聖アウグスチノ修道会)、司会は教区本部事務局長の葛嶋秀信師が務めた。中村大司教からは、鐘が「ともに世界平和の実現に向かつて歩む大きな希望の証し」であることが強調され語られた。

8月9日の平和祈願祭に関するお願いとして、中村倫明大司教は聖週間を控えた4月11日(金)、長崎3地区の小教区の皆様にあてて次のお知らせを出した。

戦後80年、被爆80年
8月8日～10日の行事
中村大司教から呼びかけ

が、特別な理由がない限りそのミサに替えて、18時から浦上教会で行われる平和祈願祭に参加いただきますようお願いいたします。戦後80年、被爆80年の節目にあたり、子どもたちも含めてできるだけ多くのの方々が、戦争や核兵器を無くし、平和を希求する『希望の巡礼者』としてお集まりいただければ幸いです。

また、聖年にあたるこの教区主催行事は次の通り。8月8日(金) 20時～9日(土) 17時 平和祈願祭(浦上教会その後、平和公園) 8月9日(土) 18時 聖体礼拝(浦上教会) 8月10日(日) 14時～16時30分 ともに歩む平和の巡礼者の集い(浦上教会)

2020年
被爆75年から
5年間のチャレンジ
<https://nuclear-free.net/>
核なき世界基金

映画『長崎—閃光の影で—』
7月25日、長崎先行公開

「80年経っても、決して忘れられない日々がある。」(公式サイト)。今年8月1日(金)に全国公開予定の映画『長崎—閃光の影で—』が、7月25日(金)長崎で先行公開される。

手に記された看護師たちの体験をもとに、脚色を加えながら生み出された3人の少女たちが主人公。原爆投下後、命と向き合い続けた少女たちの視点で、1カ月に及ぶ救護活動の日々が描かれる。

制作プロダクション・SKY CASTLE FILMより。配給・アークエンタテインメント。後援・長崎県、長崎市、長崎平和推進協会。推薦・日本カトリック司教協議会。



学進学で長崎を離れるまで毎日のように顔を合わせていたが、原爆の話を聞くことはほとんどなかった。「多分、祖父は被爆者として孫に伝えることには抵抗があったのではないかと思います」

映画の準備の際ネットですべての真逆の行為として命を救おうとした人たちのを描くわけですから、

その愛の行いをしっかりと見つめたいという気持ちで臨みました。被爆者の方々にできる限り寄り添って撮った意味で、観た方にも一緒に想いを馳せていただければうれし

「映画制作はかなり自分と向き合う作業です。あらゆる困難が次々あつてそれを乗り越えていく

好きな聖書の言葉があり、祈りの中で毎日思い返す。影響を与えてくれた人は、家族はもとより、中学校でお世話になった精道学園(オプス・デイ)の先生、プロテスタントの牧師、カトリックの神父など直接出会った人々の他、小説家の名前も挙

「映画はもう自分の生き方になっています」毎日ロザリオを唱え、聖書を読み、朝と夕の祈りを欠かすことがない。「少なくともそう努力しています。祈りの時間は力を得られるとき。そういう時間があるからこそ映画をやれている部分はあるかなと思いますね」

好きな聖書の言葉があり、祈りの中で毎日思い返す。影響を与えてくれた人は、家族はもとより、中学校でお世話になった精道学園(オプス・デイ)の先生、プロテスタントの牧師、カトリックの神父など直接出会った人々の他、小説家の名前も挙

「映画はもう自分の生き方になっています」毎日ロザリオを唱え、聖書を読み、朝と夕の祈りを欠かすことがない。「少なくともそう努力しています。祈りの時間は力を得られるとき。そういう時間があるからこそ映画をやれている部分はあるかなと思いますね」

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式
(有) 栄光式典社
代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

赤城墓地
小家族様
分譲中
長崎石彫 岩永
095-862-2469

CALIS カリス通信 6月号
海外旅行保険のご紹介
留学、出張、視察、会議出席、巡礼などで海外へ行かれる場合、日本国内とは異なるリスクマネジメントが必要です。「日本で発生する事故は海外でも発生する」ことに加え、「日本で発生しない事故が海外で発生する」と言われております。また、海外では驚くほど医療費が高い国もあり、救急車でさえ無料とは限りません。カリスでは、海外渡航されるカトリックに関係する皆様を対象に、「海外旅行保険」のご案内とご加入をお勧めしております。《海外旅行保険事故例》事例1：機内で嘔吐が始まり、空港到着後に意識を失い、救急車で搬送。17日間入院し、医師付き添いで帰国。(ホノルル) 支払額：3,262万円 事例2：観光地にて観光中に転落、病院に搬送され骨折と診断。都市まで搬送の上、手術した。(トルコ) 支払額：633万円

《主な補償について》
①傷害・疾病死亡補償：ケガや病気が原因で亡くなった場合に補償します。
②治療・救済費用補償：ケガや病気が原因で治療が必要になった場合の治療費を補償します。
③賠償責任補償：他人にケガをさせてしまった場合、他人の物を壊してしまった場合に補償します。
④携行品損害補償：盗難に遭い盗まれたものが出てこなかった、スマートフォンを落として壊してしまった場合等に補償します。
まずは、お見積りに必要な項目として、①出国日②帰国日③渡航目的をお伺いした上で、お客様のご希望の補償内容、ご予算に合わせてお見積りをいたします。
※本ご案内は「海外旅行保険」の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

私たちが、大澤阿紀子 大西 晃 毛利玲子 お守りします。 服部秀昭 川口 薫神父(顧問)

カトリック共済システム 25TC-000369 (2025年4月作成) リスク・補償に関してお気軽にお問い合わせください

長崎大司教区現勢統計表 (2024/12/31 現在)

地 域 ……	長崎県	小 教 区 ……	71	信徒数	司祭・他	総数
面 積 ……	4,131 km ²	準 小 教 区 ……	1	2022 年	866 人	57,692 人
県 人 口 ……	1,248,187 人	巡 回 教 会 ……	55	2023 年	870 人	57,064 人
カトリック ……	56,050 人	集 会 所 ……	3	2024 年	835 人	56,050 人

小教区	信徒数			世帯数	洗 礼		ミサ参加者			結 婚				死亡
	男	女	合計		子ども	成人	主日	復活	降誕	信徒 同士	混宗 婚 ⁽¹⁾	異宗 婚 ⁽²⁾	他宗 同士	
浦 上	2,707	3,453	6,160	1,277	13	2	1,100	1,200	1,600	4	0	12	0	78
稲 佐	345	402	747	255	0	0	110	160	200	0	0	1	0	12
城 山	1,164	1,436	2,600	640	10	7	350	500	600	1	0	2	0	42
西 町	738	1,318	2,056	723	0	1	350	500	500	0	0	2	0	22
本 原	879	1,058	1,937	450	3	3	500	700	800	0	0	0	0	17
三 ツ 山	118	179	297	74	0	0	115	190	197	0	0	0	0	0
中 町	527	776	1,303	477	5	7	310	520	560	3	0	5	1	21
神 ノ 島	160	220	380	140	1	2	120	180	230	1	0	0	0	11
木 鉢	425	573	998	300	8	0	150	250	250	0	0	2	0	10
鮑 の 浦	524	639	1,163	405	1	0	180	200	200	0	0	1	0	18
本 河 内	54	85	139	56	0	0	25	30	65	0	0	0	0	0
八 幡 町	143	209	352	100	0	0	40	60	60	0	0	1	0	1
愛 宕	240	478	718	192	0	1	80	100	100	0	0	1	0	9
大 浦	314	408	722	324	2	0	130	180	230	0	0	1	0	11
大 山	71	129	200	85	0	0	70	100	100	0	0	1	0	5
小 ケ 倉	305	418	723	249	1	1	90	140	140	0	0	1	0	5
深 堀	500	612	1,112	279	2	0	180	200	240	0	0	1	0	6
香 焼	194	238	432	173	1	1	100	130	130	1	0	1	0	5
馬 込	106	183	289	185	0	0	130	180	180	0	0	0	0	14
滑 石	1,710	2,028	3,738	666	7	3	410	480	600	1	0	2	0	36
出 津	228	295	523	186	2	0	150	180	200	0	0	1	0	10
黒 崎	321	364	685	194	1	1	100	120	120	1	0	0	0	6
時 津	445	516	961	279	0	2	170	250	250	0	0	1	0	16
長 与	467	480	947	303	4	2	140	200	310	1	0	1	0	7
東 長 崎	667	854	1,521	395	3	0	180	260	300	0	0	0	0	13
植 松	765	929	1,694	480	5	2	350	400	450	0	0	0	0	19
水 主 町	304	320	624	207	2	0	130	240	270	0	0	0	0	10
諫 早	509	628	1,137	322	1	1	230	265	270	1	0	1	0	6
島 原	50	55	105	25	0	0	20	30	30	0	0	0	0	1
湯 江	72	196	268	58	2	0	40	40	40	0	0	1	0	8
相 浦	436	540	976	410	1	0	250	300	300	0	0	0	0	21
三 浦 町	458	666	1,124	384	3	2	150	295	340	1	0	2	0	16
鹿 子 前	292	358	650	173	0	0	200	320	300	0	0	0	0	6
俵 町	317	350	667	247	2	3	160	250	250	2	0	2	0	11
大 野	277	340	617	266	0	0	130	140	200	0	0	0	0	11
浅 子	307	353	660	187	0	0	100	150	180	0	0	1	0	5
黒 島	103	130	233	134	0	0	90	120	130	1	0	0	0	10
太 田 尾	148	98	246	100	0	0	80	120	180	0	0	1	0	2
神 崎	787	853	1,640	340	0	0	250	450	400	0	0	1	0	13
褥 崎	378	346	724	202	2	2	120	180	200	3	0	2	0	6
大 崎	291	370	661	147	4	2	200	350	350	1	0	1	0	5
天 神	195	226	421	102	0	0	60	75	80	0	0	0	0	7
早 岐	217	272	489	150	0	1	80	100	130	0	0	1	0	6
佐 々	304	369	673	212	1	2	140	170	200	0	0	0	0	10
平 戸	275	328	603	198	1	0	120	200	200	0	0	1	0	10
上 神 崎	119	173	292	122	0	0	130	130	150	0	0	1	0	8
宝 亀	144	169	313	91	3	0	100	150	120	0	0	1	0	7
田 平	238	281	519	202	0	1	150	200	200	0	0	1	0	16
紐 差	439	550	989	248	2	2	250	350	400	1	0	3	0	21
西 木 場	238	275	513	184	2	0	120	190	190	0	0	0	0	11
平 戸 口	160	173	333	105	2	1	90	120	120	2	0	0	0	4
山 田	103	110	213	70	0	0	90	120	120	0	0	0	0	3
青 方	125	152	277	115	1	0	80	120	150	0	0	0	0	5
大 曾	168	159	327	128	1	0	150	250	250	0	0	0	0	11
青砂ヶ浦	429	501	930	320	2	0	110	130	120	0	0	0	0	20
丸 尾	182	191	373	161	0	0	130	200	200	0	0	0	0	8
仲 知	61	68	129	99	4	1	70	80	80	0	0	1	0	5
曾 根	181	197	378	154	1	0	100	180	150	0	0	1	0	8
鯛 之 浦	287	363	650	188	0	0	120	200	250	0	0	1	0	15
浜 串	160	160	320	179	0	0	135	168	200	0	0	1	0	8
桐	294	283	577	189	0	0	150	200	200	0	0	0	0	5
真手ノ浦	187	141	328	132	0	0	80	100	100	1	0	0	0	7
土井ノ浦	89	129	218	102	0	0	75	72	87	0	0	0	0	4
福 江	525	519	1,044	443	2	1	350	450	450	0	0	2	0	18
浜 脇	32	32	64	24	2	0	30	40	40	0	0	0	0	1
浦 頭	118	190	308	164	0	1	200	250	280	0	0	0	0	7
奈 留	156	154	310	98	1	0	60	100	100	0	0	0	0	9
水 ノ 浦	164	196	360	156	3	0	140	220	250	0	0	2	0	9
三 井 楽	121	173	294	120	0	0	160	180	180	0	0	0	0	5
貝 津	65	76	141	58	0	1	60	70	70	0	0	0	0	3
井 持 浦	56	44	100	43	0	0	40	70	70	0	0	0	0	0
総 計	24,678	30,537	55,215	16,646	114	56	11,350	15,545	17,189	26	0	65	1	776

(1) 混宗婚とは、カトリック信者とカトリック以外のキリスト信者との結婚
(2) 異宗婚とは、カトリック信者と非キリスト者との結婚

永井隆の著書に触れる機会を



被爆80年を迎えているが、昨夏、記事作成のため図書館で永井隆博士の著書の調べ物をしていて、たまたま『花咲く丘』という作品を開いたら、その中の「祭壇の花」という随筆に目が留まった。そこには、原爆で亡くなった父の先の家族の被爆前の生活の様子が描かれてあり、原爆前の家族のことは両親からほとんど聞いたことがなかったので、博士が記録していただくことに心から感謝した。

記録は貴重である。博士のたくさんの著作があることは知っていても、果たしてどれだけ目を通したのか。『長崎の鐘』や『ロザリオの鎖』などは若い頃読んだが、その他の著作はあまり読んでいないことに気づく。以前は書店にたくさん並んでいた。現在では数作品のみで、再版されず絶版になりかけている。これからますます証言者が少なくなっていく時代、できるだけ多くの人々に読まれることが願われる。

長崎原爆の被爆後、病床にあって驚異的なペースで記録を書き留めた永井博士。著書『平和塔』の中にそのいきさつが記されている。

「私の五体のうち、動かすことのできるのは脳と目と手である。…何かひとつ書いてみよう、寝ながら心を決めた。ちょうどそこへ長崎新聞の中島さんと熊倉さんとが来て、『原子爆弾体験記を書け』とすすめた。

こうして、世間から「ゴーストライターがいるのではないかと疑い」(『永井隆』長崎文献社175頁)が出るほど、次々に著作が世に出され、5年ほどの間に『長崎の鐘』をはじめ、絶筆となった『乙女峠』まで17作品が執筆されている。

深い信仰と学識に基づき、機知に富んだその著作は今も色あせることなく、預言的といえるほどの力強さで訴えてくるものがあり、むしろ今のような時代にこそ読まれるべきと思われる。

被爆80年となる今年、永井博士の著書に触れる機会をぜひ持ちたいものである。

永井隆博士の著作物

この子を残して
花咲く丘
平和塔
生命の河
原子爆弾救護報告
原子雲の下に生きて
長崎の鐘
如己堂随筆
長崎の花

原子野録音
私たちは長崎にいた
いと子よ
ロザリオの鎖
亡びぬものを
新しき朝
村医
乙女峠
(永井隆全集Ⅰ～Ⅲ 掲載順)

第145回クルシリヨ

5月3日(土)～5月6日(火)まで、長崎市・お告げのマリア修道会本部を会場に第145回クルシリヨが「聖年のお恵みをクルシリヨと共に」というテーマを掲げて過ごした3日間でしたが、霊的花東や参加者相互の助け合い、主の導きに助けられて、充実した時間を共有することができました。

これからは、クルシリスタとして「主がいつも共にいる」という希望を胸に、それぞれの場所での新たな信仰を育み、花を咲かせることでしょう。

(クルシリヨ事務局)

7月号は
休刊いたします

